

協働の手引き・事例集 アクションチームでの検討状況

1 事例集について

- ・こらぼんの「はじめに」にある「今後は、協働の成功事例・失敗事例などから、より良い協働を実現していくためのノウハウを蓄積したい」という部分をコンセプトのベースとする。
- ・他自治体の事例集のボリュームを見ると、最大でも60ページほど。多くの事例を掲載して冗長になることを避け、事例を厳選して掲載してはどうか。
- ・本市の協働には多様なバリエーションがあり、活動者の協働のとらえ方も様々であることを伝える。
- ・これまで協働まちづくりの土台となってきた活動から、震災後に生まれた新たな活動までを網羅し、変遷を振り返るとともに、未来の方向性を示す。

2 手引きについて

- ・事例集で取材した事例を活用するなど、事例集の内容を踏まえた内容とする。
- ・市職員を編集に巻き込み、より実践的な内容とするための意見交換を実施する。
- ・検索性や可読性を高める。

3 映像・WEB・パネルについて

- ・映像制作については、予算を考慮した実現可能な範囲から始めることとし、取材で収集した素材、市が保有する過去の市民協働に関連する素材等を活用し映像化する。
- ・WEBは情報発信の場となるほか、印刷物を改訂した際に最新版を提供する場となる。費用面を考慮すると市の公式サイトへの掲載が望ましいが、デザインの制約があり発信力が乏しいため、独自ドメインの取得についても引き続き検討を行う。
- ・パネルは事例集の形が見えた段階で検討を始める。